

「行く」1月、「逃げる」2月、「去る」3月

不退転

第 45 号
東江中学校
校長 神元 勉

「行く」1月

「行く」1月、「逃げる」2月、「去る」3月と言われるように、三学期は、あっと言う間に過ぎ去ってしまいます。

そこで、早速、1月9日(土)・10日(日)に、静岡県



伊東市で行われた「学びの共同体研究大会」に仲村渠英太先生と二人で、行って来ました。全国各地から、300名余が集う研究大会です。英太先生は、「中学校分科会1」で、英語「関係代名詞」の授業を報告しました。私は、「学校づくり分科会」で、実践報告をしました。東江中学校の授業や学校生活の様子を全国に発信し、賞賛・激励の言葉をたくさんいただきました。本当に有意義な研究大会でした。

今年の光文字は、「支」

名護・東江中34期生、光文字つなぐ 地域の支えに感謝

琉球新報

2016年1月11日 05:03

【名護】昨年で終わる方向だった名護市銭ヶ森に漢字一文字を飾る「光文字」が10日、新成人らの手によってこしもともされた。寄付金集めから新成人で行う新体制での“新光文字”のスタート。地域の人たちの支えに感謝を示し、市東江の銭ヶ森には「支」の文字が輝いた。点灯は1月末まで予定している。

光文字はこれまで新成人と地域の有志を中心に実施してきたが、20年の節目の昨年に終了した。その後、新成人となる東江中34期卒業生で立ち上げた実行委員会を中心に引き継ぎ、継続するための活動を始めた。

組織づくりから寄付金集め、電灯設置のための草刈り作業など実行委員会を中心に地域の力を借りながら活動。寄付金は企業回りや募金箱設置、FMやんばるでのキャンペーンで集め、12月末に目標額の約60万円を達成した。

カウントダウンで明かりがともると、点灯式に集まった東江中卒業生らは歌声を上げた。実行委員長の金城和人さん(20)は光を見て「きれい」と笑顔。「20年で終わらせるのはもったいない」と思い立ち上げた。協力してくれた名護市の皆さんのおかげでできた」と振り返り、「今後は市内の新成人にももっと広げて後輩にもつなげていきたい」と抱負を語った。



光文字の点灯を喜ぶ東江中34期卒業生と新光文字実行委員会の金城和人実行委員長(右から2人目)ら=10日午後6時すぎ、名護市

20年の節目に途絶えかけた「光文字」を本校第34期生が引き継ぎ、今年も銭ヶ森(じんがむい)に「支」の漢字が輝きました。草刈り、組織づくり、寄付金集め等、全て手作りで…。支え合い、つなぎ合う、最高の先輩に拍手!!



■国頭地区新人相撲大会

1学年団体…3位、2学年団体…3位

1学年個人 當眞 健斗…3位

2学年個人 島袋 彰士…準優勝

■第2回数学検定合格者(3級以上)

準2級 尾淵 未空(1次のみ合格)

玉村 紗耶(1次のみ合格)

渡具知彩寧(1次のみ合格)

3級 桃原 紗希

運天 利奈

儀間亜未結

仲地 そら(1次のみ合格)

金城 詩乃(1次のみ合格)

崎浜 進矢(1次のみ合格)



金城詩乃さんの1月の作品です。申(猿)年にちなんで、「見ざる言わざる聞かざる」を愉快地に表現していますね!!
Happyなことは、たくさん見つけ合い、言い合い、聴き合いましょう…。